

【魔笛 あらすじ】

森の中でタミーノ王子は大蛇に襲われ気絶しているところ、三人の女性が現れ大蛇を退治する。三人は、夜の女王に仕える侍女。侍女たちが女王に報告に行っている間に鳥刺しのパパゲーノが現れ、目を覚ましたタミーノに「大蛇を退治したのは自分だ」と嘘をつく。そこで侍女たちが現れ、パパゲーノは嘘をついた罰として口に錠前をかけられる。

夜の女王の娘パミーナ姫の肖像画を見て一目惚れするタミーノ。夜の女王は、邪悪な魔法使いザラストロに捕らえられている娘パミーナ姫の救出をタミーノに頼む。三人の侍女は、タミーノに魔法の笛を与え、彼のお供のパパゲーノには、魔法の鈴を与え、タミーノはパミーナを救うため一緒に冒険に出る。

ザラストロの神殿に到着したタミーノは、ザラストロが邪悪な魔法使いではなく高僧であることを知り、実は悪いのは母だったと知る。タミーノとパミーナは惹かれ合い恋に落ち、タミーノはパミーナと結ばれるため、ザラストロの試練を受けることを決意する。

パミーナ姫は、愛するタミーノ王子がザラストロに課せられた沈黙の試練のために口をきいてくれないことを嘆き自殺をはかるが、三人の童子に彼の変わらぬ愛を告げられ、共に火の試練と水の試練に挑む。様々な試練を乗り越えて、最後には「愛」によって試練に打ち勝ち二人は結ばれる。一方、恋に憧れるパパゲーノは、魔法の鈴のおかげで難を逃れ、パパゲーナと言う可愛い恋人を得ることができる。

ザラストロへの復讐に燃える夜の女王は、三人の侍女を従え、ザラストロの宮殿に乗り込もうとするが、光に勝てず電鳴と共に地獄に落ち、世界は平和で満たされる。